

取り巻く環境として、仕上げの年を攻めの方針で進んでいきたい。昨年下期からようやく改善の兆しが現れてきたようで、今年も上昇カーブを描くものと予想している。当社の関わる機械組立分野は好況の波が少し遅れてくるようだが、中期3年計画の最終年度に当たる今年、「新生への挑戦」をテーマに掲げ、

現状復帰というイメージで推移、2年目に当たる昨年は「波を起こす」こ

とに努め、小波が立つてきた。今年はその波をさらに最大限に拡大する

年に最大限に拡大する。今年は、同システムのアンテナ的商品ともいう電子事業分野の相乗効果で、BBSセル生産で推移、2年目に当たる昨年は「波を起こす」ことを狙い、アグレッシブに

定で、周辺機器を含め、

テーマは新生への挑戦

NKE 取締役社長 中村圭二

展開する方針だ。

当社は「多機能化され

た少人数の作業者が、簡

易設備を用いて実現する

最適なモノづくりの手

法」としてセル生産方式

を提案、3年前からそれを一歩進めた生産方式

として「変種変量生産シ

ステム」を開発し、市場

機器とのネットワークに

への浸透を図ってきた。

よる相乗効果を狙い推し

進めしていく。

今年は、同システムの

アンテナ的商品ともいう

電子事業分野の相乗効果

で、BBSセル生産

で推移、2年目に当たる昨年は「波を起こす」こ

と狙い、アグレッシブに

定で、周辺機器を含め、

定で、周辺機器を含め、

ブリッジし、ソリューシ

ョン事業に結び付けてい

くことも考えている。事

業化に向け、ソリューション事業を開拓している

企業とのアライアンスも積極的に行う方針だ。

企業とのアライアンスも積極的に行う方針だ。

新しいアプリケーション技術も育ってきています

子機器事業は、省配線システム「ユニワイヤシステム」、さらに同システム

を改善」に向けベクトル

ムを進化させたインテグ

も合ってきた。「新生へ

花を咲かせていく。

「新生への挑戦」のテーマのもと

